

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経済学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ (学部) コースワークとリサーチワークのバランス (院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供 (学部) 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容 (学部) 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供 (院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供 (専院)

II. 自己点検・評価(2010.5.1~2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度~2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA~Dの4段階とし自ら評価した。A~D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 「入門(基礎)」、「標準」、「応用(中級)」、「発展(上級)」といった進捗度別科目の提供を視野に入れたカリキュラム体系を設置し、上位科目の履修者を増やし、KG経済学士力を高める。	→各科目(特に、上位科目)の履修者数と平均点。	D	C			
2. 初年次導入教育の充実の一環として、学部ライフデザイン科目を設置し、5年後には1・2年生の大半が履修できるようにする。	→学部ライフデザイン科目の設置。および、その履修者数と平均点。	D	C			
3. 経済学専門教育における英語による授業の数を、現在の0科目から5年後に2科目にする。	→英語による授業数。および、その履修者数と平均点。	D	D			
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目6.2.1	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。 (説明) 「KG経済学士力」を高めるための進捗度別科目の提供を視野に入れたカリキュラム体系の導入は「基礎教育部会」「専門教育部会」に諮問し、教授会にて段階的に答申案を提示し、新しいカリキュラムの枠組みは承認されている。2011年度中には、具体的な科目の配置等詳細が決められる予定である。
☆ 小項目6.2.2	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。 (説明) 学部に対応しい科目の配置のひとつとして初年次導入教育(総合教育科目)にキャリアデザイン科目群を置き、キャリアセンター提供の科目および学部独自のライフデザイン科目を設置することを2012年度へ向けて検討中である。経済学専門教育における、英語による授業は検討中である。
その他	

《評価指標データ》

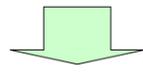
MDSプログラム履修者の全学生に占める割合
ジョイント・ディグリー制度への参加者の全学生に占める割合
専門教育、教養教育、外国語教育、情報教育等ごとの開設授業科目数

☆ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(1)】効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	



【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

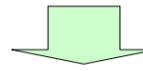
注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(2)】改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	初年次導入教育の改革および英語による授業。(昨年度継続)
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	専門基礎科目(専門科目への導入のための経済科目)の内容の検討、および経済学専門教育における英語科目の検討。
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★その他 (自由記述)	
----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価専門委員会の評価>

【学外委員】

○ディプロマ・ポリシー(=KG経済学士力)の内容が中項目6.1に記載されていないため、本報告を見る限りでは、順次性のある体系的な科目配置や英語による講義科目設置の必然性がわかりにくいものとなっています。

【学内委員】

○「KG学士力」とはどのようなものでしょうか。「教育目標」と、またディプロマポリシーとどのような関係なのでしょうか。

○上記「目標」の1(「入門(基礎)」等の進捗度別科目提供を視野に入れたカリキュラム体系の設置)、同じく2(初年次導入教育の充実の一環としての学部ライフデザイン科目の設置)は、2010年度は評価Dに対して、2011年度は評価Cとされ、今後も着実な進展が期待されます。ただ、英語による授業は、なお評価Dとされています。その具体化の上での困難な事情と打開の方策も含めての説明が期待されます。

○教育課程の体系的な編成、相応しい教育内容の提供につき、検討され努力されています。ただ、現状においても体系的であり相応しい内容を提供していると思われます。記述については、大学基準協会の留意事項などを参考にされ、現状について記述することが望まれます。

【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】

○小項目6.2.1

基盤評価：「【学士】当該学部の教育における教養教育、専門教育の位置づけを明らかにしていること」「【修士・博士】当該研究科等の教育におけるコースワーク、リサーチワークの位置づけを明らかにしていること」「【専門職】当該研究科等の教育における理論教育、実務教育の位置づけを明らかにしていること」

達成度評価：「当該学部・研究科の教育課程の編成・実施方針に従い、学生に期待する学習成果の修得につながる教育課程となっている」(評価に当たっては、当該大学の説明・証明から、下記のことが明らかであるかに留意する。)

- ・方針と教育課程の編成・実施実態の整合性
- ・学生の順次的・体系的な履修への配慮
- ・各学位課程の固有の課題に応える措置(例えば、学士課程においては、初年次教育・高大連携への配慮など)

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★なし	
-----	--